

第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会

大津市準備委員会設立趣意書

国民スポーツ大会は、広く国民の間にスポーツを普及し、スポーツ精神を高揚して国民の健康増進と体力の向上を図り、併せて地方スポーツの振興と地方文化の発展に寄与するとともに、国民生活を明るく豊かにすることを目的として開催されます。

また、全国障害者スポーツ大会は、障害のある人が競技等を通じてスポーツの楽しさを体験するとともに、国民の障害に対する理解を深め、障害のある人の社会参加の推進に寄与することを目的としております。

さて、2019年のラグビーワールドカップに始まり、2021年の東京オリンピック・パラリンピック、2022年のワールドマスターズゲームズ2021関西と世界的なスポーツイベントが相次いで開催されるゴールデンスポーツイヤーズの締めくくりともいえるべく、わが国最大のスポーツの祭典が昭和56年以来44年ぶりに滋賀県で開催されることが内定しております。本市において多くの競技会が開催されることは、平成28年度に策定した大津市スポーツ推進計画の目指す、市民のスポーツへの関心を高めるとともに、スポーツに親しみ、笑顔で楽しめる環境を、市民が力を合わせて共に創っていくことが出来る社会の実現に大きく寄与するものと期待されます。

また、本大会開催に向けて、市民や関係団体、行政などが一体となって取り組んでいくことは、相互の連帯感や郷土意識を高めるとともに、「大津の魅力」を全国に発信する絶好の機会でもあります。

このような意義ある大会を成功に導くために、市民・各種関係団体・行政からなる「第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会大津市準備委員会」を設立し、大津市民の総力を結集して所期の目的を達成しようとするものであります。

令和3年1月13日

第79回国民スポーツ大会・第24回全国障害者スポーツ大会 大津市準備委員会設立発起人

大津市スポーツ協会会長	磯田 英清
大津市学区体育団体連絡協議会会長	岡野 三郎
大津市障害者スポーツ協会会長	北村 茂
大津商工会議所会頭	大道 良夫
大津北商工会会長	後藤 又久
瀬田商工会会長	松尾 房郎
公益社団法人びわ湖大津観光協会会長	中野 道夫
大津市議会議長	八田 憲児
大津市長	佐藤 健司
大津市教育委員会教育長	島崎 輝久